旺文社版教科書準拠ワークブック

Step

Workbook

English I

[Revised Edition]



Tombstone, Arizona



Contact
Lenses
for Chickens



教科書 CD のご案内

お使いいただいている旺文社版英語教科書に完全準拠のコンパクト・ディスクを、「教科書 CD」として別売しています。 英語の総合的な学習のために、またリスニング (聞き取り) やディクテーション (書き取り) のテスト対策としても大いに役に立つ、この「教科書 CD」をぜひご利用ください。 お申し込みは、お近くの書店または下記へお願いします。
旺文社流通センター 〒162-8680 東京都新宿区矢来町78 (電話) 03-5968-8761

旺文社版教科書準拠

Step English I [Revised Edition] ワークブック

初版発行 1998年2月10日

重版発行 2002年

編 者 旺文社

発 行 者 赤尾文夫

編集担当 林 充 営業担当 神山甲一

発 行 所 株式会社 旺文社

〒162-8680 東京都新宿区矢来町 78

印刷 所 日新印刷株式会社

印刷 所 三興印刷株式会社

製 本 所 有限会社 穴口製本所

●乱丁・落丁本については送料小社負担にてお取り替えいたします。

●お客様相談窓口 Tel. 03(3266)6400

●ホームベージ

http://www.obunsha.co.jp/

S1M070(許可なしに転載、複製することを禁じます。)CObunsha Co., Ltd. 1998区日本複写権センター委託出版物>複写希望者は日本複写権センター (03-3401-2382) までISBN4-01-047331-2Printed in Japan



Workbook

English I

[Revised Edition]



Tombstone, Arizona



Contact Lenses for Chickens



はじめに

皆さんは、これから新しい気持ちで、高校生としての勉学や運動・部活などに取り組もうと考えていることでしょう。新入生として、英語の勉強もあらたな気持ちでスタートしましょう。

本書は、教科書 Step English I に準拠して編集されたものです。各課は、まず「この課のポイント」を設けて、文法事項を、教科書の「ルールを覚えよう」よりもくわしく説明しています。教科書には出てこなかった文法用語も出てきます。何回も読んでその内容を理解するようにしてください。そうすれば確実に英語の基礎を自分のものにすることができるでしょう。

「この課のポイント」の後には、「基礎力問題」と「発展問題」が続きます。「基礎力問題」では、その課に出てくる単語・熟語・文法事項を中心に、無理なく、しかも徹底的に学習できるように問題を配列しました。また、「発展問題」では、その課に出てくる文章を中心に、「この課のポイント」を理解できたかどうか、くりかえし、くりかえし、色々な形で質問しています。この問題ができたときには、「この課のポイント」で扱った文法事項を確実に自分のものにしたといえるでしょう。さらに、「発展問題」では、「この課のポイント」をなお一層確実なものにするために、その課に出てきた文章以外の応用問題も載せています。なお、Lesson 1 については特に取り上げるべき文法事項も含まれていませんし、文章も短いので解説・トレーニング問題のページは設けていません。

さて、本書は、書き込みのノート形式をとっています。1題1題すぐその場で答を書いて、学習したことを確実なものにしてください。復習時の自己テストとして、予習時の補助として、あるいは試験前の模擬テストなど、それぞれに合った使い方を自分なりに工夫して、この1冊のノートを良き友として、Step English I を、完全に消化されることを期待しています。

本書を十分に活用することによって、高校での**英**語の勉強が楽しくなることを祈っております。

なお、本書の刊行にあたり、大井恭子先生及び William F. O'Connor 先生に多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。

旺 文 社



LESSON Z	NEVER GIVE UP!	5
3	A LITTLE COUNTRY WITH A BIG IDEA	9
4	TOMBSTONE, ARIZONA	13
5	BUNGEE JUMPING	17
6	CONTACT LENSES FOR CHICKENS	21
7/	FACT IS STRANGER THAN FICTION!	25
8	FIGHTING THE COMMON COLD	<i>29</i>
9	WHICH IS NATURAL?	33
10	FROM TV REPAIRMAN TO DOCTOR	37
11	KENDO SAVED HIS LIFE	41
12	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION	45
13	YOSHIO'S LETTER TO HIS PEN PAL	49
14	WHY SPIDERS CAN MAKE BEAUTIFUL THREADS	53
15	TALK SHOW	57

Lesson 2

NEVER GIVE UP!

☞ 教科書 pp. 6~9

━━ この課のポイント ━

★ 動詞の過去形

The frog *jumps* into the bottle. (カェルはびんの中に飛び込む) — 現在形 \downarrow The frog *jumped* into the bottle. (カェルはびんの中に飛び込んだ)

—— 過去形

I sometimes *write* a letter to my American friend. (ぼくはときどきアメリカ人の友達に手紙を書く) —— 現在形

I wrote a letter to my American friend yesterday. (ぼくは昨日アメリカ人の友達に手紙を書いた) ── 過去形

● 一般動詞の過去形には、① **jump** → **jumped** のように動詞の原形に -ed または -d (e で終わる語の場合)をつける動詞 (規則動詞)と② **write** → **wrote** のように 不規則に変化して過去形をつくる動詞(不規則動詞)とがある。動詞の変化形については、教科書 p. 92 を参照して、変化を確認しておくこと。

★ 過去進行形

A frog *is playing* near a milk bottle. (カエルが牛乳びんのそばで遊んでいる) — 現在進行形

A frog was playing near a milk bottle. (カエルが牛乳びんのそばで遊んでいた) — 過去進行形

● 過去進行形は「be 動詞の過去形 (was または were)+動詞の -ing 形」で表す。

		1	基礎力問	題(D	(→別冊解答	5 p. 3)
A	次の単語の意味を	書きな	さい。				
	1. frog (3. leg (5. gradually ()))		 bo ha mo 	rd ()
В	次の単語の最も強 き写しなさい。 1. in-ter-est-ed	く発音	すべき箇所の 2. be-ca)で囲み,	下にその単記 3. bot-tle	語を書
	1 2 3 4 () 4. af-ter 1 2 ()		1 2 (5. grad-)		1 2)
С	次のそれぞれの単 違うものには×を 1. pl <u>ay</u> —g <u>a</u> me	つけな	さい。 2. <u>one—on</u>		3. <u>u</u> se	— <u>u</u> p	(○を,
D	4. down—out 次の動詞の過去形		5. b <u>u</u> tter—p)の中に書	_	_	s—ear <u>th</u> 科書 p. 93)	
	1. swim (4. become (次の文の ())	2. get (5. have (を過去形にし	で文を書) 6. s	give (see ()
Ε	1. You (like) ne						
	2. I (move) my 3. He (jump) in		river				
	4. It (change) in						
	5. I (go) to Lor	ndon l	ast year.				

①000 発展問題 000①

(→別冊解答 p. 3)

Α	本にい。	文を参考にして、 次の文の () に入る単語を下から選んで書きなさ
	3.	The frog became interested () the bottle. The frog jumped () the bottle. The frog got out () the bottle. The frog never gave (). into, of, up, in
		ilito, oi, up, ili
В	次(い。	の文の () 内の語句を並べ換えて正しい文にして,全文を書きなさ
	1.	(he, after, swam, the, in, milk), he tried to get out of the pottle. 彼は牛乳の中で泳いだ後で,びんから出ようとした。
	2.	The frog was shocked, (he, give, but, didn't, up). カエルはショックを受けたが、あきらめなかった。
		And, of course, (was, to, from, able, the frog, jump, the outter) and get out of the bottle. そして, もちろん, カエルはバターから跳ぶことができて, びんから出ることができた。
С	()内の語句を使って、次の文を書き換えなさい。
	1.	He is absent from school. (yesterday)
	2.	We study about the U.S.A. (last week)
	3.	Are you at home? (an hour ago)
	4.	I do not get up early. (this morning)

1.	I (was, am, were) washing my car.
	ぼくは車を洗っていた。
2.	Yuka and Jane (was, were, are) talking in the garden. 由花とジェーンは庭で話をしていた。
3.	They (are, was, were) swimming in a pool. 彼らはプールで泳いでいた。
4.	We (was, were, are) playing a game. 私たちはゲームをしていた。
5.	He (is, was, were) listening to the radio. 彼はラジオを聞いていた。
	の文を「~していた」という意味の文(過去進行形)にしなさい。 I read a newspaper.
1.	の文を「~していた」という意味の文(過去進行形)にしなさい。 I read a newspaper. He washed his car.
1.	I read a newspaper.
 2. 	I read a newspaper. He washed his car.

Lesson 3

A LITTLE COUNTRY WITH A BIG IDEA

☞ 教科書 pp. 10~14

━━ この課のポイント ━

★ 動詞の現在形

I live in Tokyo. (私は東京に住んでいる)
We live in Japan. (私たちは日本に住んでいる)
My cousin lives in France. (ぼくのいとこはフランスに住んでいる)
Tom lives in the United States. (トムはアメリカに住んでいる)

主語が3人称,単数で,時制が現在のときは動詞の原形に-s または-es をつける。

● このときの -s または -es の発音に注意する。

[-s] : walks, talks, takes

[-z] : lives, loves, goes

[-iz]: teaches, washes, finishes

● つづりにも注意する。

carry \rightarrow carries, study \rightarrow studies, do \rightarrow does, go \rightarrow goes pass \rightarrow passes, watch \rightarrow watches

★ 現在進行形

今起こっていることを表すには、「be 動詞+動詞の→ing 形」を使う。

I am working. (私は仕事中です)

The telephone is ringing. (電話が鳴っています)

My brother is doing his homework. (私の弟は宿題をしています)

● つづりに注意するもの。

come → coming, have → having, smoke → smoking, write → writing, die → dying, lie → lying run → running, sit → sitting

		(1)	基礎力問	題()	(→別冊	冊解答 p. 4)
A	次の単語の意味	未を書きな	さい。				
	1. dirty	()	2	2. garba	ge ()
	3. plant	Ì)		l. ecolog	_	,)
	5. governmen	it ()		6. forest)
В	次の単語の最も き写しなさい。	ら強く発音	ますべき箇所の	番号を〇	で囲み,	下にその	単語を書
	1. gar-bage		2. e-col-o-	gv		3. Him	-a-la-yas
	1 2		1 2 3			1	2 3 4
	()	()		()
	4. pro-tec-tion	l	5. gov-eri	n-ment 3		6. im-p	or-tant 2 3
	()	()		()
С	A 欄とB 欄の重 さい。	协詞で −s	または -es σ	部分の発	音が同じ	ものを線	で結びな
		A		В			
	W	alks		reads			
		ays		washes			
	fir	nishes		works			
D	次の動詞の3丿	、称 単数瑪	在形を書きな	さい。			
	1. listen ()	2. push ()	3. bu	y ()
	4. kiss ()	5. love ()	6. do	()
	7. think ()	8. have ()	9. wa	tch ()
Ε	次の動詞の -ir	ng 形を書	きなさい。				
	1. sit ()	2. have ()	3. sv	vim ()
	4. run ()	5. play ()	6. w	rite ()
	7. wash ()	8. study (· · •)	9. ra	in ()

① 00 発展問題 000

(→別冊解答 p. 4)

A	本がい。	文を参考にして、 次の文の () に入る単語を下から選んで書きなさ
	-	Many people and countries are now interested
		The government of Bhutan is always thinking () our world.
	3. (The people in Bhutan think ecology is more important) business.
	4.	The Bhutan government wanted () protect the trees.
		about, than, to, in
В		こならって次の語句を使って 「~しているところです」 という文をつく なさい。
	(例	I • watch • television → I am watching television.
	1.	My mother • wash • her hair
	2.	He • eat
	3.	My father • read • a newspaper
	4.	I • listen • to the radio
	5.	It · rain
С	()内の指示に従って、次の文を書き換えなさい。
	1.	I know the answer. (否定文に)
	2.	I know the answer. (He を主語にして)

3.	He works very hard. (否定文に)
4.	They speak English. (疑問文に)
5.	She plays the piano very well. (疑問文に)
文	本語の意味になるように、次の文の()内の単語を並べ換えて正しい こし、全文を書きなさい。
	(a small country, Bhutan, doing, for, called, is, good things, the Earth) in many ways. ブータンと呼ばれる小さな国は色々な方法で地球のために良いことをしている
	Ten parts of the country are protected, and (cover, places, 20%, hese, the land, of). 国の中で 10 箇所が保護され,そしてこれらの土地は国土の 20%を占める。
3.	Bhutan is not a rich country, but (there, think, people, ecology, business, important, than, more, is). ブータンは豊かな国ではないが、そこの人々は生態を守ることのほうがビジネスより重要だと考えている。
例(こならって, 次の疑問文に対する自分自身の答を書きなさい。
(例) Do you smoke? → No, I don't.
נעו	
1.	Do you live in a big city?
1.	Do you live in a big city?

Lesson 4

TOMBSTONE, ARIZONA

☞ 教科書 pp. 16~19

━ この課のポイント

★ 複文

We feel that we know each other quite well. (私たちはお互いの事をかなりよく知っていると感じている)

この文で We feel の部分は「主節」と呼ばれ、that we know each other quite well の部分は、主節 We feel の目的語となっていて「従属節」と呼ばれる。このように、1つの節が中心になって、それにもう1つ節が従属している文を「複文」という。

● 複文の構造

 主節
 (接続詞)
 従属節

 主語+動詞 …
 that
 主語+動詞 …

I think that this is a strange name for a town. (これは町の名前にしては奇妙だと私は思う)

He says that the movie was about this gunfight. (その映画はこの決闘についてのものだったと彼は言う)

これらの例文の場合、that で導かれる従属節は、主節の動詞の目的語となっている。 このような従属節は**名詞節**と呼ばれる。この場合、that は省略されることが多い。

		(\cdot)	を従り「	问起			(→別冊解答 p.	4)
A	次の語・語句の意	味を書き	きなさい。					
	1. strange (3. historic (5. stay with ())	4. g	nmous unfight ook forward	to	()
В	次の単語の最も強 き写しなさい。 1. his-tor-ic	く発音	すべき箇所 2. for-		を○で囲み,		その単語を e-vent	書
	1 2 3 () 4. al-most		2. 101 1 (5. gun	2)	(1 2)
	1 2		(2)	(1 2)
С	次のそれぞれの単 うものには×をつ 1. famous—car 4. other—ocean	- けなさ(:	, \ ₀	t <u>a</u> ke	部の発音が同 3. sun 6. hist	nmer	·— <u>u</u> nique	
D	下の各文を、例文	のように	こ「私は~。	と思う」	という文に	しなる	さい。	
	(例) It is true	→ <u>I thi</u>	nk it is tr	ue.				
	1. She is very	-						
	2. It is raining. →							
	→ 3. It will rain.				-			
	4. This is diffic	ult for	me.					

①000 発	展問題	夏 000()
--------	-----	----------------

本文を参考にして、次の文の()に入る単語を下から選んで書きなさ

(→別冊解答 p. 5)

A	い。							
		I have a pen pal () Arizona.						
		We started writing letters () each other about four						
		vears ago.						
		I am going to stay () him () two weeks.						
		I am looking forward () visiting this historic town.						
	т.	Tam looking forward () Visiting this installe town.						
		to, to, with, in, for						
	下	の日本語の意味になるように, () 内の動詞を必要があれば正しい形						
В	に	変えて,全文を書きなさい。						
	1.	We started (write) letters to each other about four years ago.						
		, ,						
		ばくたちは約4年前に互いに手紙を書き始めました。						
	2.	I am going to (stay) with him for two weeks.						
		ぼくは2週間,彼の所に泊まる予定です。						
	3.	He (live) in a small town.						
		Might grant of the property of						
	1	I am looking forward to (visit) this town						
	4.	I am looking forward to (visit) this town.						
		ぼくはこの町を訪れるのを楽しみにしています。						